

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成21年10月1日(2009.10.1)

【公開番号】特開2008-253814(P2008-253814A)

【公開日】平成20年10月23日(2008.10.23)

【年通号数】公開・登録公報2008-042

【出願番号】特願2008-192166(P2008-192166)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 0

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】平成21年8月14日(2009.8.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の入賞領域と、複数種類の第 1 の識別情報を可変表示可能な第 1 の可変表示装置と、該第 1 の可変表示装置が予め定められた表示結果となったときに開成する普通電動役物と、該普通電動役物への遊技球の入賞に基づいて複数種類の第 2 の識別情報を可変表示可能な第 2 の可変表示装置とを有し、該第 2 の可変表示装置の表示結果が予め定められた特定の識別情報の組合せとなった場合に遊技者にとって有利な特定遊技状態に制御可能となる遊技機であって、

遊技制御プログラムに従って遊技を制御するとともに前記第 1 の可変表示装置を可変開始させてから第 1 の変動時間が経過した後に表示結果を導出表示させる基本回路を搭載した基板と、

前記入賞領域への遊技球の入賞を検出する入賞検出手段とを含み、

前記基本回路は、

前記第 2 の可変表示装置の表示結果を決定する表示結果決定手段と、

前記第 2 の可変表示装置の表示結果を特定の識別情報の組合せとしないことが前記表示結果決定手段により決定されたとき、前記第 2 の可変表示装置の表示結果を構成する各々の第 2 の識別情報を決定する前に、リーチ状態を表示するか否かを決定するとともに前記第 2 の可変表示装置を可変開始させてから表示結果を導出表示させるまでの第 2 の変動時間を複数種類の中から決定する変動パターン決定手段とを含み、

前記基板は、前記入賞検出手段の出力信号と、前記基本回路が遊技制御用として適宜作成する信号と、前記基本回路が試験用信号として作成する信号とを試験用信号として出力可能な配線パターンを有するとともに、当該配線パターン上に遊技機外部に設けられる試験装置との接続に用いられるコネクタを搭載するためのコネクタ搭載部を有するが、該コネクタ搭載部に前記コネクタは未搭載であり、

前記試験用信号として出力される前記入賞検出手段の出力信号は、前記基本回路に入力される出力信号が分岐された信号であり、

前記基本回路が遊技制御用として適宜作成する信号には、前記特定遊技状態において開放可能な特別電動役物を駆動するためのソレノイドの駆動信号が含まれ、

前記基本回路が試験用信号として作成する信号には、前記第 1 の可変表示装置において

前記複数種類の第1の識別情報が可変表示中であることを示す可変表示中信号が含まれ、前記基本回路に入力される出力信号が分岐された信号には、前記特別電動役物に入賞した遊技球を検出する前記入賞検出手段の出力信号が含まれることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、たとえばパチンコ遊技機やコイン遊技機などで代表される遊技機に関し、詳しくは、複数の入賞領域と、複数種類の第1の識別情報を可変表示可能な第1の可変表示装置と、該第1の可変表示装置が予め定められた表示結果となったときに開成する普通電動役物と、該普通電動役物への遊技球の入賞に基づいて複数種類の第2の識別情報を可変表示可能な第2の可変表示装置とを有し、該第2の可変表示装置の表示結果が予め定められた特定の識別情報の組合せとなった場合に遊技者にとって有利な特定遊技状態に制御可能となる遊技機に関する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

この種の遊技機として従来から一般的に知られたものに、たとえば、複数の入賞領域と、複数種類の第1の識別情報を可変表示可能な第1の可変表示装置と、該第1の可変表示装置が予め定められた表示結果となったときに開成する普通電動役物と、該普通電動役物への遊技球の入賞に基づいて複数種類の第2の識別情報を可変表示可能な第2の可変表示装置とを有し、該第2の可変表示装置の表示結果が予め定められた特定の識別情報の組合せとなった場合に遊技者にとって有利な特定遊技状態に制御可能となる遊技機があった。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

この種の遊技機においては、たとえば特別図柄と称される識別情報が可変表示される特別図柄用可変表示装置が設けられ、該特別図柄用可変表示装置の表示結果が大当りの表示態様となった場合に特定遊技状態（大当り状態）となる。特にその表示結果が複数種類定められた大当りの表示態様のうちの特殊な表示態様となった場合には、たとえば、その大当りに基づく特定遊技状態の終了後に第1の特別遊技状態の一例となる確率変動状態となり、大当り確率が向上された状態となる。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

また、この種の遊技機には、たとえば、電動役物で構成される始動入賞用可変入賞球装置や、普通図柄と称される識別情報が可変表示される普通図柄用可変表示器等が設けられている。そして、打玉が所定領域を通過する等した場合に前記普通図柄用可変表示器が可変開始する。また、前記普通図柄用可変表示器の表示結果が特別の表示態様となった場合

には始動入賞用可変入賞球装置が開放状態となり、打玉を始動入賞させ易い状態となる。さらに、前記始動入賞用可変入賞球装置に打玉が始動入賞した場合には、特別図柄用可変表示装置が可変開始する。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

ところで、この種の遊技機については、第三者機関（保安電子通信技術協会）による形式試験が義務づけられており、その試験の結果、所定の規格に適合する機種のみが製品として出荷することが許される。その試験内容は、たとえば、1分間に発射できる遊技球数、1回の入賞で払出される賞球数、電動役物の性能、可変表示装置の性能等、多岐にわたる。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

しかしながら、従来においては、遊技機自体が第三者機関による試験の便宜を考慮しては製造されていなかったため、その試験に手間がかかるという問題があった。

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明は、係る実情に鑑み考え出されたものであり、その目的は、第三者機関による試験の便宜を考慮し、その試験に手間がかからないようにした遊技機を提供することである。

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

(1) 複数の入賞領域と、複数種類の第1の識別情報を可変表示可能な第1の可変表示装置と、該第1の可変表示装置が予め定められた表示結果となったときに開成する普通電動役物と、該普通電動役物への遊技球の入賞に基づいて複数種類の第2の識別情報を可

変表示可能な第2の可変表示装置とを有し、該第2の可変表示装置の表示結果が予め定められた特定の識別情報の組合せとなった場合に遊技者にとって有利な特定遊技状態に制御可能となる遊技機であって、

遊技制御プログラムに従って遊技を制御するとともに前記第1の可変表示装置を可変開始させてから第1の変動時間が経過した後に表示結果を導出表示させる基本回路を搭載した基板と、

前記入賞領域への遊技球の入賞を検出する入賞検出手段とを含み、

前記基本回路は、

前記第2の可変表示装置の表示結果を決定する表示結果決定手段と、

前記第2の可変表示装置の表示結果を特定の識別情報の組合せとしないことが前記表示結果決定手段により決定されたとき、前記第2の可変表示装置の表示結果を構成する各々の第2の識別情報を決定する前に、リーチ状態を表示するか否かを決定するとともに前記第2の可変表示装置を可変開始させてから表示結果を導出表示させるまでの第2の変動時間を複数種類の中から決定する変動パターン決定手段とを含み、

前記基板は、前記入賞検出手段の出力信号と、前記基本回路が遊技制御用として適宜作成する信号と、前記基本回路が試験用信号として作成する信号とを試験用信号として出力可能な配線パターンを有するとともに、当該配線パターン上に遊技機外部に設けられる試験装置との接続に用いられるコネクタを搭載するためのコネクタ搭載部を有するが、該コネクタ搭載部に前記コネクタは未搭載であり、

前記試験用信号として出力される前記入賞検出手段の出力信号は、前記基本回路に入力される出力信号が分岐された信号であり、

前記基本回路が遊技制御用として適宜作成する信号には、前記特定遊技状態において開放可能な特別電動役物を駆動するためのソレノイドの駆動信号が含まれ、

前記基本回路が試験用信号として作成する信号には、前記第1の可変表示装置において前記複数種類の第1の識別情報が可変表示中であることを示す可変表示中信号が含まれ、

前記基本回路に入力される出力信号が分岐された信号には、前記特別電動役物に入賞した遊技球を検出する前記入賞検出手段の出力信号が含まれることを特徴とする。

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

このような構成によれば、試験に手間がかからないようにすることができ、遊技機の試験を迅速に行なうことが可能となる。

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 6】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 5
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 7】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 6
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 8】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 7
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 9】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 8
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 0】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 9
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 0
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 1
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 3】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 2
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 4】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 3
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 5】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 4
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正 2 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3 0】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 9

【補正方法】削除

【補正の内容】